

放射線科の外来受診（入院診療）を受けられた患者さんおよびそのご家族の方へ

【研究課題】 SPECT/CT による心筋血流シンチグラフィの精度向上：減弱補正手法と冠動脈石灰化の解析

1. 対象となる方

2024年11月から2025年2月までに当院で薬剤負荷心筋シンチ検査をされた方

2. 研究目的・意義

SPECT/CTにおける体動補正の方法は、手動位置合わせ、自動位置合わせ、撮影時位置合わせ（SPECT画像に合わせてCT画像を撮影時に機器的に合わせてくれる）の3手法ある。3手法で心機能パラメータがどの程度変化するかを評価・検出することを目的とする。

3. 研究方法・研究に用いる試料・情報の種類

患者さんのカルテに記載されている2024年11月1日から2025年2月28日までの情報を収集して解析する研究です。患者さんに新たに〇〇のご負担をいただくことはありません。

収集する情報：研究対象者背景、身体所見、負荷心筋シンチ検査情報、
検査前後に心臓エコー、CT、MRI、
心臓カテーテル検査などが撮像されていればそれらの情報

4. 利用又は提供を開始する予定日

〇〇〇〇年〇月〇日

5. 研究期間

〇〇〇〇年〇月〇日より2028年12月31日まで

6. 個人情報等の取り扱い、外部への試料・情報の提供

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。また、本研究に関わる記録・資料は研究終了後、直ちに破棄・廃棄します。

7. 研究の資金源及び利益相反

本研究における研究資金、利益相反はありません。

8. 研究組織

【研究責任者】

自治医科大学附属さいたま医療センター放射線科 真鍋 治

9. 対象になることを望まない場合の申し出 及び お問い合わせ先

① 対象になることを望まない場合

当院では、「負荷心筋シンチ検査の体動補正の仕方によってどの程度心機能解析データが変化するかを検討」という臨床研究を実施しております。この研究は、SPECT/CT において心臓検査において呼吸や拍動による体動補正処理により心機能解析データがどの程度変化を生じるのか検討するものです。負荷心筋シンチ検査は心臓に運動や薬剤で負荷をかけて心臓疾患を画像化したり解析したりするものです。

情報が本研究に使用されることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2028年12月31日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合診療など病院サービスにおいて患者の皆様へ不利益が生じることはありません。

ただし、連絡をいただいた時点で既に解析が行われていた場合や研究成果が学会・論文などで公表されていた場合は、対象から外すことはできませんので、ご了承ください。

② お問い合わせ

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、または御自身の診療情報につき、開示のご希望がある場合には、下記までお問い合わせください。

他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、この研究の計画書や研究方法に関する資料を入手又は閲覧することが出来ますので、ご希望であれば、下記の問い合わせ先までお申し出ください。

また、本研究に関して苦情がありましたら【苦情の窓口】に平日の8時30分から17時までにご連絡をお願いします。

【照会先】

研究責任者：自治医科大学附属さいたま医療センター 放射線科 准教授 真鍋 治
〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 1-847
電話 048-647-2111（代表）

【苦情の窓口】

自治医科大学附属さいたま医療センター 総務課
電話 048-648-5225